

令和2年度 予算概要

土地改良法の改正および財政の状況を的確に把握し財政の健全化に資するため、当改良区は令和元年度会計から複式簿記会計へ移行しました。令和2年度の予算編成は複式簿記会計を導入してから2度目の予算編成であり、一般会計、特別会計の再編と合わせた科目構成による予算の執行状況を勘案しながらの予算編成となりました。

令和2年度の一般会計当初予算額は17億3,992万円となり、前年度の一般会計当初予算額の16億4,506万円と比較すると9,486万円の増額で5.8%の増となりました。

主な要因は団体営事業実施に伴う土地改良事業費や、用排水路移設補償工事の受託費の増額によるものです。

また、経常経費の比較では、一般管理費において、職員退職に伴う職員数の減により、職員給与、手当、法定負担金を合わせて1,964万円の減額をはじめ、研修費、食糧費、交際費なども経費削減に努め、実績に応じて減額した予算編成としております。

一方、事務所管理費及び情報システムなどの維持管理費については計画的なメンテナンスのため、前年度比較で1,170万円の増額となっておりますが、一般管理費全体では1,001万円の減額予算となっております。

収入では、共通賦課金を田で11,500円/10aの据え置きとしました。今年度より各区道水路維持管理費に充てるため、第4区の各区賦課金として田で300円/10aを

徴収することとし、共通賦課金、各区賦課金、特殊田負担金を合わせた賦課金収入は4億4,955万円となり、前年度比較56万円の減額となりました。

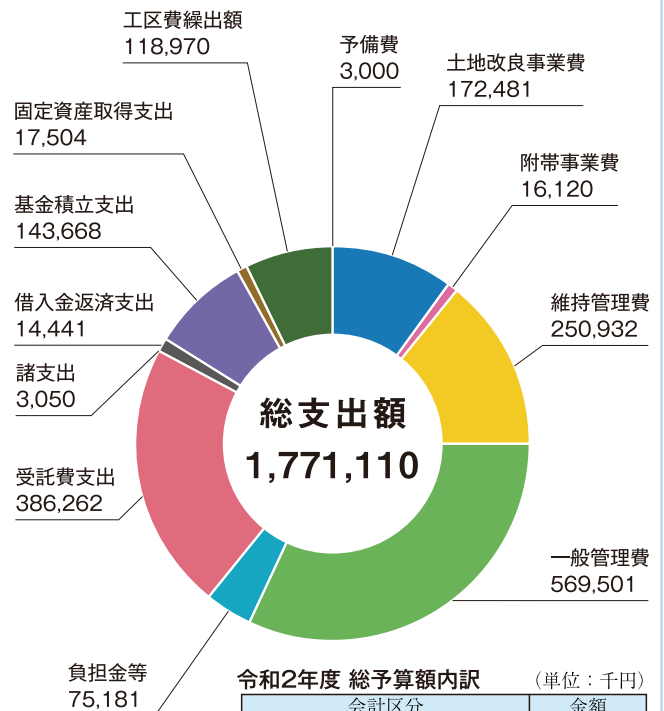
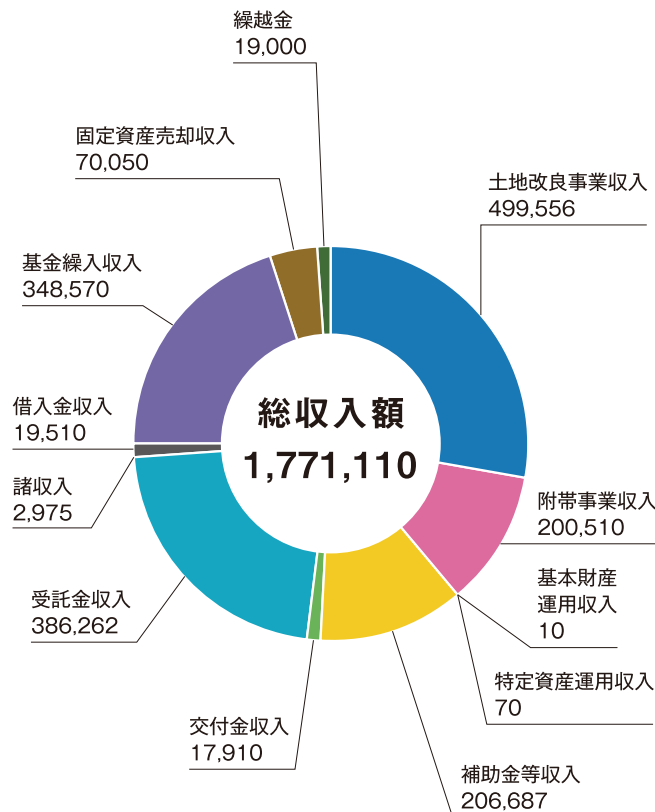
そのほか、基金積立金からの繰り入れについては、経常経費の減額に伴い財政調整基金からの事務費充当は行わないこととしておりますが、償還基金（共通）、決済金積立金からの事務費充当は賦課金を据え置きとするために必要な財源となっております。基金充当は事業費や維持管理費、租税公課などを含め事務費以外の財源としても予算編成に於いて重要な位置づけとなっております。

事業展開については、小杉地区における経営体育成基盤整備事業の調査事業が2年目を迎え、基盤整備事業の実施に向けての計画作りを進めて参ります。また、基幹水利施設ストックマネジメント事業も今年度1億3,000万円の事業が予定され1,950万円が地元負担金となり、これについては前年と同様、負担の平準化による基金の安定運用を図るため、公庫資金の借入とし、償還財源は賃貸収入から充当することとしました。

そのほか、団体営事業では、新規事業として両川揚水機場地区水利施設整備事業、地域農業水利施設ストックマネジメント事業（保全計画策定）亀田郷第9地区などの事業と合わせ、維持管理適正化事業により横越第1揚水機場、大淵揚水機場、大形揚水機場のポンプ整備補修を実施する事で土地改良事業費は前年比較で3,739万円の増額となっております。

令和2年度 科目別総予算額

単位：千円



令和2年度 総予算額内訳 (単位：千円)

会計区分	金額
一般会計	1,739,924
特別会計 亀田郷発電事業	32,320
特別会計 小杉地区経営体 育成基盤整備事業	10,763
会計間内部取引消去	△ 11,897
総予算額	1,771,110